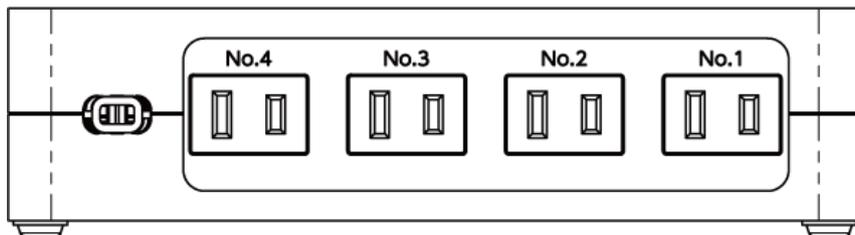
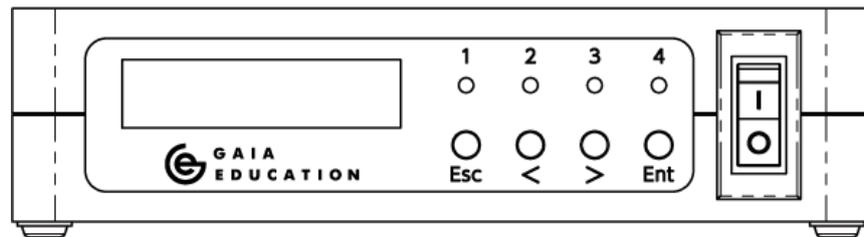


輪番充電タイマー Tモデル

取扱説明書

RJT-01



取付・取扱い設置説明

◎ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全に行ってください。

◎取り扱い不備による事故や破損については、当社は責任を負いません。

安全上のご注意

誤った取扱いをした時に生じる危険とその程度を、次のような表示で区分しています。



警告

記号は誤った取扱いをした時に、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

記号は誤った取扱いをした時に、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものを表しています。



記号は禁止事項を表しています。



記号は必ず指示に従い行う事を表しています。

 警告		<ul style="list-style-type: none">●コンセントに接続する機器は、定格消費電力合計が1500W以内で使用してください。消費電力が1500Wを超えると異常発火して火災の原因になることがあります。●電源プラグは、刃の根元までしっかりと差し込んでください。●コンセントは差込み口に異物やごみが入らないようにしてください。●コンセントや配線に水がかからないようにご注意ください。●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。●電源プラグを抜く際は、必ずプラグを持って抜いてください。
		<ul style="list-style-type: none">●分解や改造をしないでください。破損したりけがをすることがあります。●本体並びにケーブルに衝撃を与えないで下さい。●廃棄をする場合は専門業者にお任せするか、購入店へご相談ください。焼却すると有害ガスが発生することがあります。
 注意		<ul style="list-style-type: none">●野外、水のかかる所で使用しないでください。故障やさび、変色の原因になります。●危険物（割れ物、薬品など）と一緒にしないでください。人体や備品などを傷つけることがあります。●直射日光やストーブなどの熱が直接あたる場所や湿気・乾燥の著しい所での使用は避けてください。

安全に正しくお使いいただくため、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

またこの『取扱説明書』は大切に保管してください

目次

はじめに	・・・	P4
1.各部の名称・機能	・・・	P5
2.基本の操作・設定方法		
電源の入れ方	・・・	P6
充電の方法	・・・	P7
設定のロック/解除	・・・	P7
時計の設定	・・・	P8
各種設定	・・・	P9
動作モード設定	・・・	P10
TIMER モード 時刻設定	・・・	P11
ALL ON モード (全コンセント同時充電方法)	・・・	P14
3.電流制限の方法		
電流制限値の設定	・・・	P16
オーバーローテーション動作	・・・	P17
電流制限保護動作による動作停止	・・・	P18
4.その他の充電方法		
ローテーションのグループ設定	・・・	P19
ローテーション時間の設定	・・・	P20
5.その他の機能		
充電の中止	・・・	P22
初期設定に戻す	・・・	P23
エラー表示	・・・	P24
初期設定値表	・・・	P25
6.主な仕様	・・・	P26

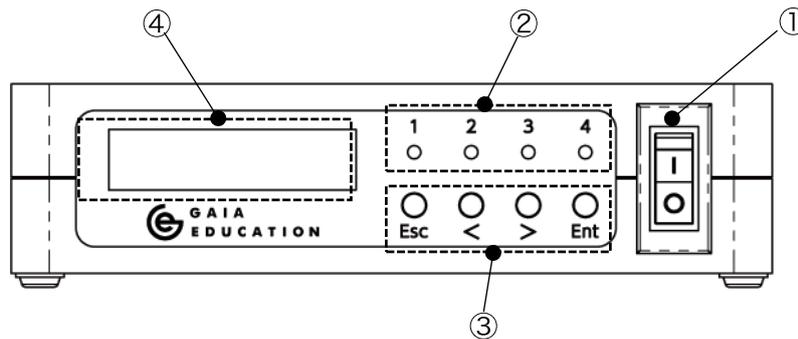
はじめに

- ・本取扱説明書は、輪番充電タイマーTモデル（以下、本装置）の操作方法を記載したものです。
- ・本装置は、4口のコンセント差込口をタイマー制御にて電源の ON/OFF をコントロールし、タブレット端末等の充電を管理することを目的とした装置です。
- ・本装置には電流センサーが内蔵されており、充電で使用できる電流を任意に設定できます。（最大 15A）
- ・本装置は電流センサーで測定した電流値を表示します。
- ・本装置には、4個口のコンセント差込口があり、コンセント差込口ごとに電源の ON/OFF タイマーを2つ設定できます。
- ・本装置は前面の LED 表示でコンセント差込口の ON/OFF 状態を表示します。
- ・本装置はコンセント差込口を最大4つのグループに分けてローテーション ON/OFF することができます。
- ・本装置は設定内容を記憶することができるので、装置の電源を OFF しても、次回 ON 時には設定した内容で動作できます。
- ・本装置は設定内容を不用意に変更できないように、時間の経過で設定をロックします。

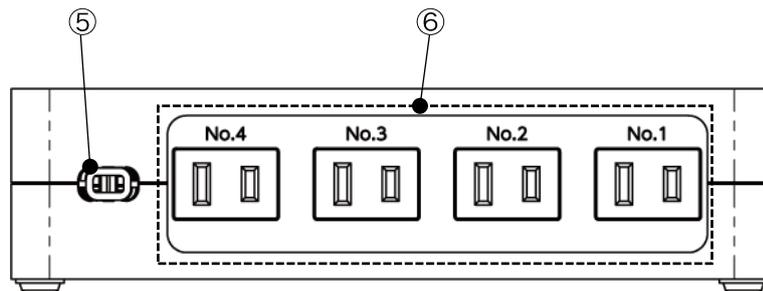
1. 各部の名称・機能

本装置の各部の名称及び機能は下図と第1表となります。

<正面>



<背面>

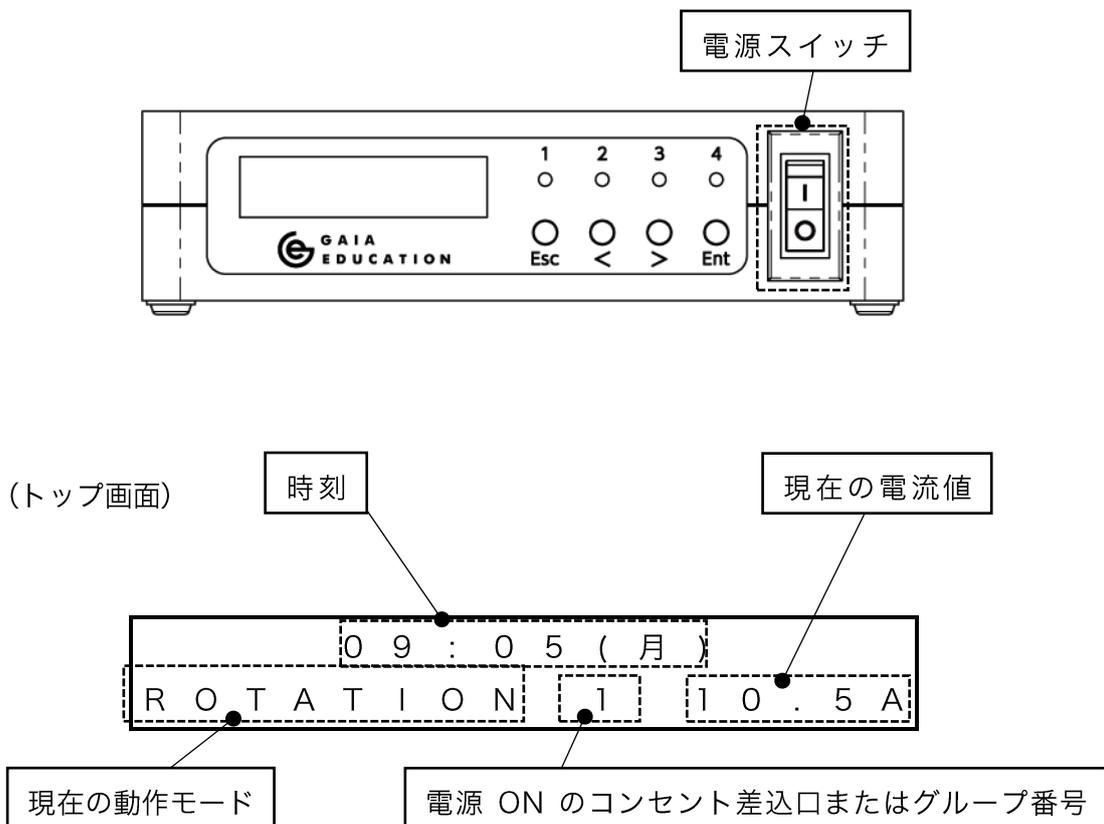


番号	名称	機能説明
①	電源スイッチ	本装置の主電源スイッチも兼ねたサーキットプロテクタ (15A)
②	LED 表示 (橙)	本装置背面のコンセント差込口から電源が出力している番号を表示 点灯：電源 ON、消灯：電源 OFF
③	操作ボタン	LCD 表示メニューの操作ボタン。 Ent：決定 Esc：戻る < >：選択ボタン
④	LCD 表示	時刻、状態表示他、設定画面の表示
⑤	電源コード	本装置の電源コード (長さ 5m)
⑥	コンセント差込口	タイマー制御で AC 電源を ON/OFF するコンセント。 4 個口

2. 基本の操作・設定方法

2-1 電源の入れ方

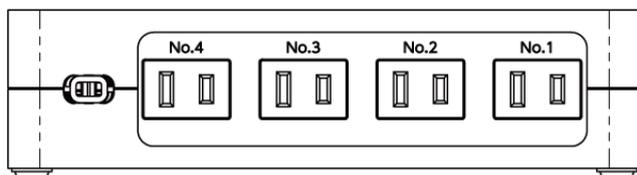
- ・本装置電源コードをコンセント（AC100V）に差し込み、正面の電源スイッチを ON の方向にいれます。
- ・LCD 表示に本製品の品番が表示された後、下記のように表示されます（トップ画面）。
- ・本装置は出荷時に時計の時刻は設定されています。現在時刻と照らし合わせて時刻にずれがないか確認してください。ずれている場合は「P8 時計の設定」で時刻を設定します。



※ 電源投入時にエラー表示された場合は、「P24 エラー表示」を参照ください。

2-2 充電の方法

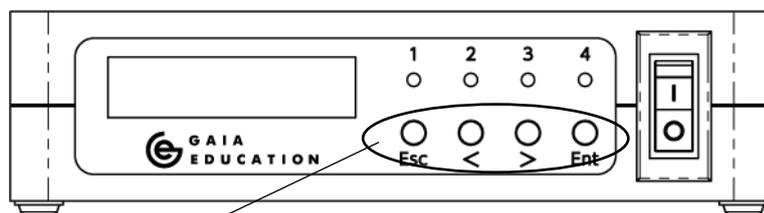
- ・本製品では、初期設定で充電を開始する時間が設定されています。そのため、各配線をつなぎ、本製品の電源を入れることで、自動的に設定した時間から充電されます。
- ・初期の設定時間は以下の通りです。



	充電開始時間	充電終了時間
NO.1	18:00	21:30
NO.2	21:30	01:00
NO.3	01:00	04:30
NO.4	04:30	08:00

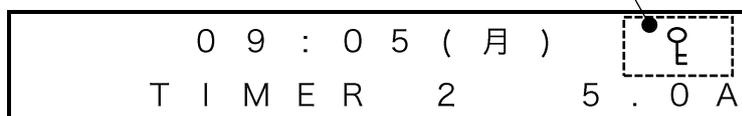
2-3 設定のロック/解除

- ・本装置は、各設定を不用意に変更できないようにロックすることができます。
「トップ画面で全操作ボタン同時押し3秒以上で設定ロック/解除」の操作となります。
- ・ボタン操作を3分間行わないと自動で設定ロックをします。
- ・設定ロック時は、右上に「鍵」のマークが表示されます。
ロック中は、時刻の設定（P8 時計の設定）と動作モードの変更（P10 動作モード設定）以外はできません。
- ・設定をロックすると、本装置の電源を OFF してもロック状態が保持されます。
次回電源 ON 時には設定ロックがされた状態で動作します。



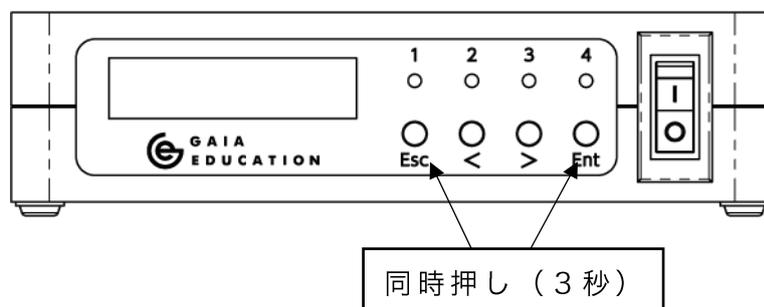
全ボタン同時押し (3秒)

ロック表示

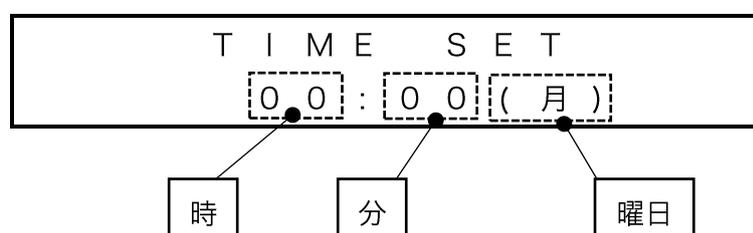


2-4 時計の設定

- ① トップ画面から、本装置正面の操作ボタンの「Esc」ボタンを押しながら「Ent」を押して3秒以上経過すると、時刻設定画面になります。



- ② 時刻の表示が点滅状態になるので、「<」「>」ボタンで合わせ「Ent」ボタンで決定します。「時」→「分」→「曜日」と順次合わせます。曜日まで合わせて「Ent」ボタンを押すと設定完了です。



- ・設定をキャンセルしたい場合は、「曜日」の合わせが完了する前に「Esc」ボタンで操作を戻ることによってキャンセルできます。
- ・ボタン操作を3分間行わないとトップ画面に戻ります。

2-5 各種設定

- ・LCD表示のトップ画面から操作ボタンにて、各設定ができます。
- ・トップ画面から「Ent」ボタンを押すと、設定選択画面になります。
設定選択画面では、「<」「>」ボタンを押して選択することにより、下記の1)から6)項目が設定・確認できます。設定内容の詳細は各項を参照ください。
- ・設定内容は、装置内のメモリに保存されますので、電源をOFFにしても次回ON時には設定された内容で動作します。
- ・設定画面中ボタン操作が20秒以上無い場合、トップ画面に戻ります。



- 1) モード設定 (MODE SET) →動作モード設定 (P10)
本装置の動作モードを設定します。設定後即時動作開始します。
- 2) タイマー設定 (TIMER SET) →TIMERモード 時刻設定 (P11)
各コンセント差込口のON/OFF時刻の設定をします。各コンセント差込口でタイマー設定を2つ設定することができます。
- 3) グループ設定 (GROUP SET) →ローテーションのグループ設定 (P19)
ローテーション動作のグループを設定します。グループは4つ設定することができます。
- 4) ローテーション設定 (ROTATION SET) →ローテーション時間の設定 (P20)
オールローテーションとグループの時間間隔を設定します。
- 5) 電流制限設定 (CURRENT LIMIT) →電流制限値の設定 (P16)
本装置で使用可能な電流値を設定します。設定値を超過した電流を検知すると、オーバーローテーション動作 (OV.RT) になります。オーバーローテーション動作中に設定値を超過した電流を再び検知すると、全コンセント差込口がOFF (MODE OFF) になります。
- 6) 解除時間設定 (RESET TIME) →<解除時間の設定> (P14)
ALL ON動作、オーバーローテーション動作を解除してTIMER動作に移行する時間を設定します。

2-6 動作モード設定

- ・設定選択画面「SETTING」から、「MODE SET」を選択し「Ent」ボタンで決定、動作モードを設定します。動作モードは下表の通りです。
- ・「<」「>」ボタンで動作モードを選択し「Ent」ボタンで決定します。
設定が決定されるとトップ画面に戻り、即時スタートします。
- ・複数のコンセント差込口が同時に ON する場合（ALL ON や GROUP）は、ON 時の突入電流防止のため、コンセント差込口の番号昇順で順次 ON します（およそ 0.5 秒間隔）。
- ・設定画面中ボタン操作が 20 秒以上無い場合、トップ画面に戻ります。



現在の設定が表示されます。「<」「>」ボタンでモードを選択します。

<動作モード一覧>

項目	機能説明
ALL ON	No.1 から No.4 の全てのコンセント差込口の電源を ON にします。 ALL_ON 動作時は、別途設定する解除時間になると TIMER 動作に移行します。
TIMER	設定した曜日・時刻で各コンセント差込口を ON/OFF します。
ALL ROTATION →P20	ローテーション設定で設定した時間間隔で No.1 から No.4 のコンセント差込口が順次 ON/OFF を繰り返します。
GROUP →P19,20	設定した A から D の 4 つのグループがローテーション設定で設定した時間間隔で順次 ON/OFF を繰り返します。
MODE OFF※1	No.1 から No.4 の全てのコンセント差込口の電源を OFF します。 本機能は電流制限値による保護動作が働いた場合と P22 手順でのみ動作します。
OVER ROTATION ※1※2	オーバーローテーション動作として動作します。 オーバーローテーション動作は電流制限値を超えた場合に短時間（10 分間隔）でローテーションをします。別途設定する解除時間になると TIMER 動作に移行します。

※1 通常動作では画面には表示されません。特殊な状況下(P17,18,22)でのみ表示されます。

※2 OVER ROTATION に切り替わるまでの待機時間中（1,2 秒）は「STAND BY」と表示されます。（表示のみ）

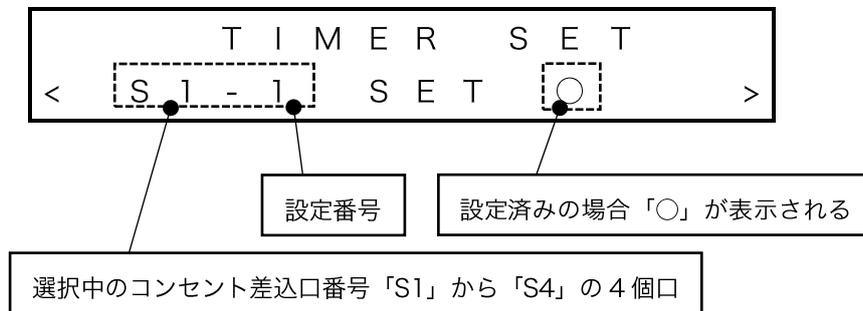
2-7 TIMER モード 時刻設定

・動作モードの「TIMER」での各コンセント差込口のON/OFF時刻を設定します。

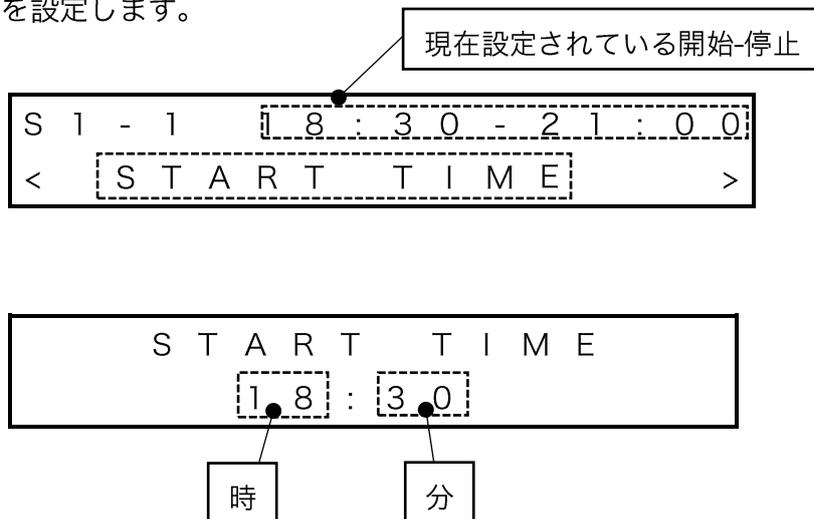
- ① 設定選択画面「SETTING」から「TIMER SET」を選択し「Ent」ボタンで決定、タイマーの時刻を設定します。



- ② 設定するコンセント差込口の番号を「<」「>」ボタンで選択し「Ent」ボタンで決定します。



- ③ 開始時間「START TIME」の設定表示になりますので、「Ent」ボタンを押し時刻を設定します。



※設定方法は、装置本体の時刻設定と同じです。

設定する部分が点滅表示しますので「<」「>」ボタンで時刻を動かし「Ent」ボタンで決定します。

- ④ 続いて「<」「>」ボタンで停止時間「STOP TIME」を選択して時刻を設定します。

S 1 - 1 1 8 : 3 0 - 2 1 : 0 0
 < S T O P T I M E >

S T O P T I M E
 2 1 : 0 0

- ⑤ 同様の操作で週設定「WEEK SET」を選択して曜日を設定します。曜日の設定は「<」「>」ボタンで曜日を選択し「Ent」を押すごとに有効「○」、無効「x」が切り替わります。設定したら「Esc」ボタンで前の画面に戻ります。

S 1 - 1 1 8 : 3 0 - 2 1 : 0 0
 < W E E K S E T >

W E E K S E T
 日 x 月 ○ 火 ○ 水 ○ 木 ○ 金 ○ 土 x

タイマーを有効にする曜日を選択し「ENTER」で「○」/「x」を切り替え。
 「ESC」で前の画面に戻る。

- ・上記の画面だと、コンセント No.1 が月曜日から金曜日、18：30～21：30の間充電されます。
- ・「TIMER SET」から抜けてトップ画面に戻るには「Esc」ボタンを数回押して画面を戻ってください。
- ・設定画面中ボタン操作が20秒以上無い場合、トップ画面に戻ります。

<個別削除>

- ・タイマー設定を個々に削除する場合は、各コンセント差込口の番号のタイマー設定で「TIMER CLEAR」を選択し「OK」で決定します。

S 1 - 1 1 8 : 3 0 - 2 1 : 0 0
 < T I M E R C L E A R >

設定の削除は開始・停止時刻、曜日の選択画面の中の「TIMER CLEAR」を選択

S 1 - 1 C L E A R ?
 < O K >

「OK」で決定「CANCEL」で戻る

S 1 - 1 0 0 : 0 0 - 0 0 : 0 0
 < T I M E R C L E A R >

タイマー時刻が削除

<全タイマー削除>

- ・全てのタイマー設定を削除する場合は、「TIMER SET」の設定値選択画面で「<」「>」ボタンを押し「ALL CLEAR」を選択して「OK」で決定します。

T I M E R S E T
 < A L L C L E A R >

「TIMER SET」内で「ALL CLEAR」を選択

A L L C L E A R ?
 < O K >

「OK」で決定「CANCEL」で戻る

- ・設定値を削除した場合、開始-停止時間が「00:00-00:00」曜日は全て「○」となります。
- ・開始時刻と停止時刻が同じ場合、タイマーは無効になります。

※すべてのタイマー設定が無効の場合、「TIMER」モードへの動作モード変更はできません。

2-8 ALL ONモード（全コンセント同時充電方法）

- ・動作モードの「ALL ON」モードに設定することで、現在の時間にかかわらず、全コンセントがONになり、接続された端末を同時に充電することができます。
- ・設定選択画面「SETTING」から「MODE SET」を選択し、「Ent」ボタンで決定、動作モードを「ALL ON」に設定します。



- ・「ALL ON」モードを解除する場合は、別モードに変更してください。また、下記の解除時間になると自動的に「TIMER」モードに変更されます。

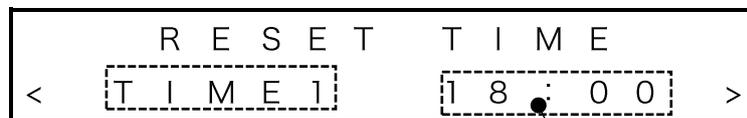
<解除時間の設定>

- ・オーバーローテーション動作（OV.RT）および「ALL ON」動作から「TIMER」動作に自動的に切り替える時間を設定します。
- ・2つの時間を設定することができます。
- ・「TIMER」動作は「タイマー時刻設定」で設定した時刻で動作します。

- ① 設定選択画面「SETTING」から「RESET TIME」を選択し「Ent」ボタンで決定し、時間を設定します。

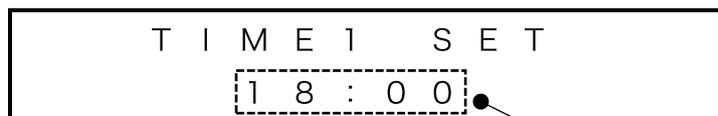


- ② 時刻設定の「TIME1」または「TIME2」を「<」「>」ボタンで選択して「Ent」ボタンで決定すると、時間設定表示になります。時刻を設定し「Ent」で決定します。



設定1

現在の設定されている時刻が表示される



時刻を設定。手順は時刻設定と同じ

設定2（TIME2）も同様の手順で設定します。

※解除時間の TIME1 と TIME2 は同じ時刻を設定すると、
解除時間は1つのみになります。

- ・「RESET TIME」から抜けてトップ画面に戻るには「Esc」ボタンを数回押して画面を戻ってください。
- ・設定画面中ボタン操作が20秒以上無い場合、トップ画面に戻ります。

注 意

一斉充電は一度に多量の電力を使用します。

そのため、基本的には

「TIMER」モードでの充電をお勧めいたします。

コードが抜けていた、電源が入っていなかったなどの緊急事態の際に

「ALL ON」モードをご活用ください。

3.電流制限の方法

3-1 電流制限値の設定

- ・本装置には電流センサーが内蔵されており、常時電流を計測しています。
- ・1.0A から 15.0A の範囲で使用できる電流値を設定できます。

- ① 設定選択画面「SETTING」から「CURRENT LIMIT」を選択し「Ent」ボタンで決定し、電流値を設定します。

```
== =   S E T T I N G   == =  
<   C U R R E N T   L I M I T   >
```

- ② 「<」「>」ボタンで電流値を増減させ、「Ent」ボタンで決定します。

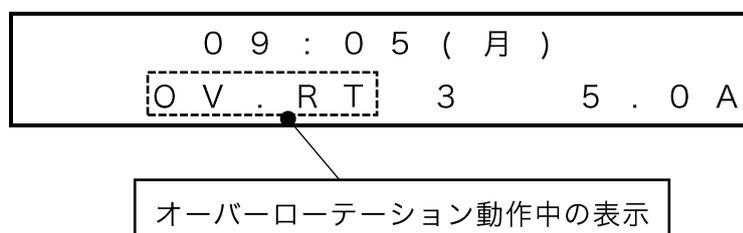
```
C U R R E N T   L I M I T  
  1 . 5   0 A
```

「<」「>」で数値を増減（0.1A ステップ）させ、電流値を設定

- ・「CURRENT LIMIT」から抜けてトップ画面に戻るには「Esc」ボタンを数回押して画面を戻ってください。
- ・設定画面中ボタン操作が20秒以上無い場合、トップ画面に戻ります。

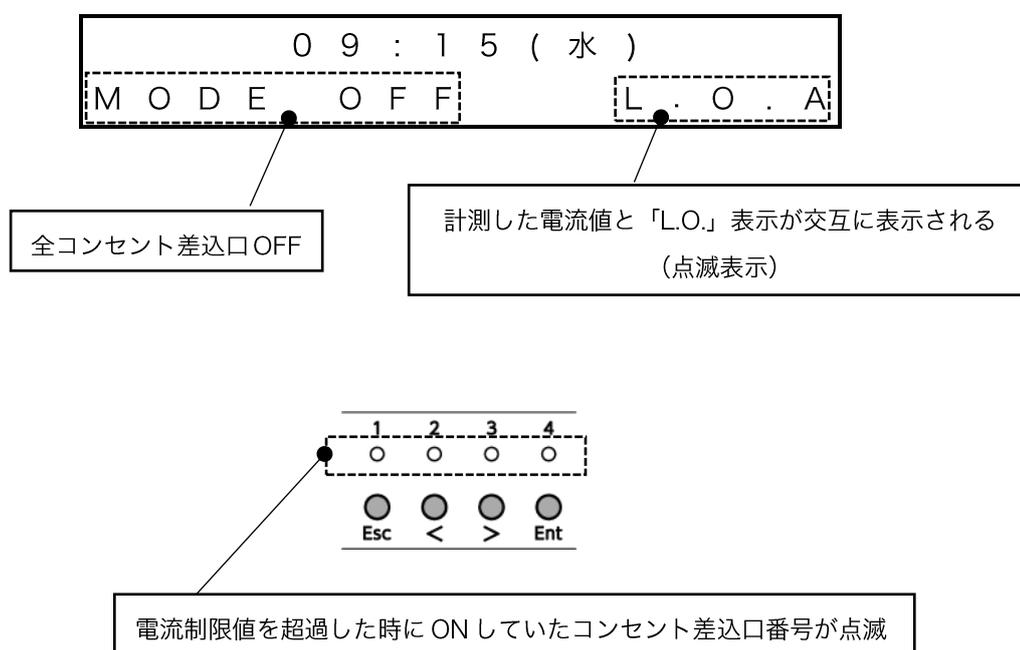
3-2 オーバーローテーション動作

- ・「電流制限値の設定」で設定した値を超過する電流が流れると、ローテーション時間が10分間固定のオールローテーション：オーバーローテーション動作（OV.RT）になります。
- ・オーバーローテーションは「解除時間の設定」で設定した時刻になると「TIMER」動作に切り替り動作します。
- ・オーバーローテーション動作中の通常動作への復帰方法はトップ画面から「SETTING」の「MODE SET」で動作モードを変更してください。
- ・オーバーローテーション動作中、再び電流制限値を超過した場合、全コンセント差込口がOFFになります。（P18. 電流制限保護動作による動作停止を参照ください）
- ・オーバーローテーション動作時は、トップ画面の動作モード表示が「OV.RT」と表示されます。



3-3 電流制限保護動作による動作停止

- ・オーバーローテーション動作中、電流が電流制限値を超過した場合、全コンセント差込口がOFFになります。
- ・全コンセント差込口がOFFした場合、トップ画面の動作モードの表示が「MODE OFF」となり、電流値が「L.O.」(LIMIT OVER) の点滅表示となって、電流制限によって全コンセント差込口がOFFになったことを知らせます。
- ・本装置のLEDは電流制限値を超過した時にONしていたコンセント差込口番号が点滅します。



- ・保護動作によって停止すると自動では通常の動作に復帰しません。
- ・復帰方法はトップ画面から「SETTING」の「MODE SET」で動作モードを変更するか、装置本体の電源を一旦OFFして再起動してください。

4.その他の充電方法

4-1 ローテーションのグループ設定

- ・動作モードの「GROUP」で管理するコンセント差込口のグループ分けの設定をします。
- ・次項のローテーションの時間と組み合わせることで、コンセント差込口 No.1 と 3 を同時に、次に No.2 と 4 を充電することができます。
 - ① 設定選択画面「SETTING」から「GROUP SET」を選択し「Ent」ボタンで決定し、グループを設定します。

```

= = =   S E T T I N G   = = =
<       G R O U P   S E T       >
  
```

- ② 設定するグループ番号を選択します。グループは「A」から「D」の4グループ設定できます。設定済みのグループには、「○」が表示されます。

```

          G R O U P   S E T
<   G R O U P   A   ○   >
  
```

設定済みの場合「○」が表示される

- ③ グループにするコンセント差込口番号を「<」「>」ボタンで選択し、「Ent」ボタンで「○」/「×」を切り替えて設定します。グループに入れる場合は「○」、除外する場合は「×」です。設定が完了したら「Esc」ボタンで戻ります。

```

          G R O U P   A   S E T
          1 ○ 2 ○ 3 × 4 ×
  
```

グループにするコンセント差込口 No.を選択し「Ent」で「○」/「×」切り替え。「Esc」で前の画面に戻る

- ・「GROUP SET」から抜けてトップ画面に戻るには「Esc」ボタンを数回押して画面を戻ってください。
- ・設定画面中ボタン操作が20秒以上無い場合、トップ画面に戻ります。
- ・グループ設定が無い場合、「GROUP」モードへの動作モード変更はできません。

4-2 ローテーション時間の設定

- ・動作モードの「ALL ROTATION」、「GROUP」の、ローテーションの時間間隔を設定します。
- ・「ALL ROTATION」モードでは下記で設定した時間でコンセント No.1、2、3、4の順に充電されていきます。
- ・設定選択画面「SETTING」から「ROTATION SET」を選択。「Ent」ボタンで決定し、ローテーション時間を設定します。

```

===== S E T T I N G =====
< R O T A T I O N S E T >

```

「ALL」「GROUP」の現在の設定が表示されますので、「<」「>」ボタンで選択し「Ent」で決定、時間を設定します。

※時間は「00:00」には設定できません。(時間間隔は 00:01 = 1分以上です)

<ALL ROTATION の時間設定>

```

R O T A T I O N S E T
< ALL 03:00 >

```

選択中の動作モードのローテーション時間が表示

```

A L L I N T E R V A L
03:00

```

時間を設定。手順は時刻設定と同じ

上の例では、3時間ごとにコンセント No.1、2、3、4の順に充電されていきます。

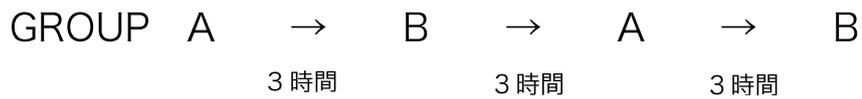
<GROUP の時間設定>

R O T A T I O N S E T			
<	G R O U P 0 1 : 0 0		>

G R O U P I N T E R V A L			
		0 1 : 0 0	

- ・上記例では 1 時間後に GROUP“A”から GROUP “B”に充電が変更されます。
- ・他の GROUP を設定しなかった場合、存在する GROUP 間のみでローテーションされます。

例：GROUP A,B のみ作成され、3 時間毎でローテーションが設定されている場合

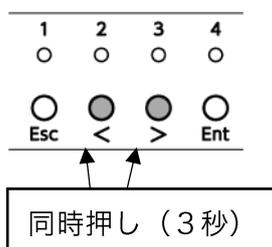


- ・「ROTATION SET」から抜けてトップ画面に戻るには「Esc」ボタンを数回押して画面を戻ってください。
- ・設定画面中ボタン操作が 20 秒以上無い場合、トップ画面に戻ります。

5.その他の機能

5-1 充電の中止

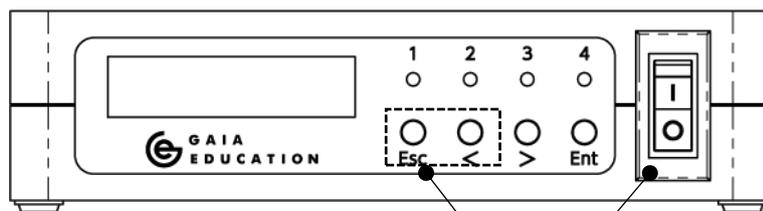
- ・本装置は手動で全コンセント差込口を OFF することができます。
- ・トップ画面で「<」「>」ボタン同時押し3秒以上で、全ソケット差込口（4個口）を OFF します。OFF すると動作モードの表示は「MODE OFF」となります。
- ・動作モードを変更する場合は、「SETTING」の「MODE SET」から動作モードを変更します。
- ・「MODE OFF」の状態は記憶されませんので、そのまま電源 OFF しても次回電源投入時には解除され、前回設定したモードで動作します。



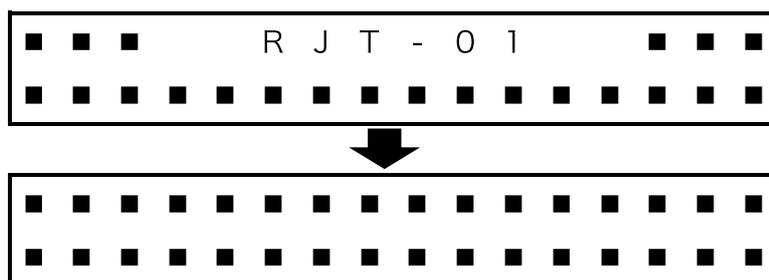
0 9 : 0 5 (火)
M O D E O F F 0 . 0 A

5-2 初期設定に戻す

- ・本装置は、各設定を初期設定に戻すことができます。初期設定値は P25 「初期設定値」を参照ください。
- ・操作ボタン「Esc」「<」を押しながら、本装置の電源を ON し、品番が表示され、LCD 表示画面が全て「■」となるまで「Esc」「<」を押し続けます。「■」が表示されたら、ボタンを放します。

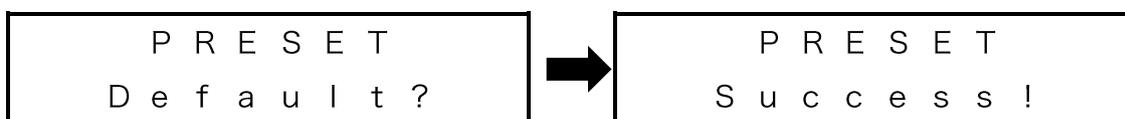


「Esc」「<」ボタンを押しながら電源スイッチを ON します。
画面が「■」になるまで、「Esc」「<」ボタンは押し続けます。



装置品番が表示された後、LCD 表示が全て「■」になります。

- ・画面に「PRESET Default?」と表示されるので、「Ent」ボタンで決定します。

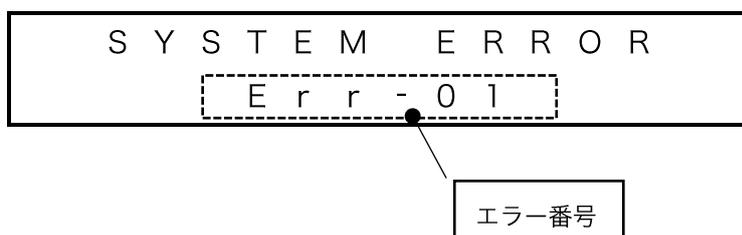


- ・「Success!」と表示されれば、設定完了です。装置本体の電源を OFF し、再度 ON してください。初期設定で動作します。

5-3 エラー表示

- ・本装置の動作中に異常があった場合 LCD 表示に「SYSTEM ERROR」とエラー番号を表示し、動作を停止します。
- ・エラーとなった場合は、本装置の電源スイッチを OFF し、電源を再投入して正常復帰するか試みてください。異常が解消されない場合、サポートまでご連絡ください。
- ・エラー表示の内容は下記「エラー番号表」を参照ください。

エラー表示一例



エラー番号表

エラー番号	エラー状態	本体動作
Err-01	装置本体のメモリに保存した各設定に異常があった場合 (設定の書込/読込異常)	エラー表示 全コンセント差込口 OFF 動作停止 (MODE OFF)
Err-02	装置本体時刻が異常だった場合 (値が異常、書込/読込異常)	
Err-03	計測電流値が異常だった場合 (計測値が異常値、読込エラー等)	
Err-04	動作異常だった場合 (コンセント差込口の ON/OFF の制御異常)	

5-4 初期設定値表

項番	項目	値	記事
1	Mode	TIMER	動作モード
2	TIMER S1-1 START	18:00	コンセント差込口 No.1 タイマー設定 1
3	TIMER S1-1 STOP	21:30	
4	TIMER S1-1 Week	日月火水木金土	
5	TIMER S1-2 START	00:00	コンセント差込口 No.1 タイマー設定 2
6	TIMER S1-2 STOP	00:00	
7	TIMER S1-2 Week	日月火水木金土	
8	TIMER S2-1 START	21:30	コンセント差込口 No.2 タイマー設定 1
9	TIMER S2-1 STOP	01:00	
10	TIMER S2-1 Week	日月火水木金土	
11	TIMER S2-2 START	00:00	コンセント差込口 No.2 タイマー設定 2
12	TIMER S2-2 STOP	00:00	
13	TIMER S2-2 Week	日月火水木金土	
14	TIMER S3-1 START	01:00	コンセント差込口 No.3 タイマー設定 1
15	TIMER S3-1 STOP	04:30	
16	TIMER S3-1 Week	日月火水木金土	
17	TIMER S3-2 START	00:00	コンセント差込口 No.3 タイマー設定 2
18	TIMER S3-2 STOP	00:00	
19	TIMER S3-2 Week	日月火水木金土	
20	TIMER S4-1 START	04:30	コンセント差込口 NO.4 タイマー設定 1
21	TIMER S4-1 STOP	08:00	
22	TIMER S4-1 Week	日月火水木金土	
23	TIMER S4-2 START	00:00	コンセント差込口 No.4 タイマー設定 2
24	TIMER S4-2 STOP	00:00	
25	TIMER S4-2 Week	日月火水木金土	
26	GROUP A	1,2	グループ A 設定
27	GROUP B	3,4	グループ B 設定
28	GROUP C	-	グループ C 設定
29	GROUP D	-	グループ D 設定
30	ALL ROTATION INTERVAL	03:00	オールローテーション時間間隔
31	GROUP INTERVAL	01:00	グループ ローテーション時間間隔
32	RESET TIME1	18:00	ALL_ON、OV:RT の解除時間 1
33	RESET TIME2	08:00	ALL_ON、OV:RT の解除時間 2
34	CURRENT LIMIT	15.0	電流制限値
35	設定ロック	解除	

6. 主な仕様

項目	仕 様
定格入力電圧	AC100V (50Hz/60Hz)
定格容量	15A・125V (1500W まで)
コンセント口数	2P、4 個口
電源プラグ	2P (スイングプラグ)
電源コード長	5m
安全装置	15A サーキットプロテクタ
タイマー設定	各コンセント差込口に 2 通り、合計 8 通り可能
ローテーションモード設定	単体、グループローテーションが可能
ローテーショングループ設定	4 グループの設定が可能
電流制限値設定範囲	1.0A~15.0A
電流計測精度	±0.2A 以内
時計精度	±2.5 秒/日 (周囲温度 25°C)
時計バックアップ	充電池内蔵
本体寸法	200mm (W) ×200mm (D) ×53mm (H)
重量	1.2kg 以下
使用環境	温度：-10°C~40°C

保証書

お客様	
販売店様	
製品名	輪番充電タイマー Tモデル
製品型番	RJT-01
保証期間	購入日より1年 ※購入時のレシート、領収書を保管下さい。

保証書修理規定

1. 保障期間中に故障した場合は、株式会社ガイアエデュケーション、またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書をご提示いただくことで、補償範囲内の修理をさせていただきます。なお修理の受付、作業は、弊社の営業時間内とさせていただきます。
※保証書の再発行はいたしません。大切に保管してください。
また保証期間を証明できる、購入時のレシートもしくは領収書が必要となります。
2. 本取扱説明書安全上のご注意で記載している事項での動作、及びお客様の過失による故障に関しては保証期間内の場合でも保障出来ない場合がございます。
3. 修理により取り外した部品の所有権は、弊社または保守会社に帰属します。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

■この商品には保証書がついています。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

●通常の使用による故障の場合のみ保証の対象となります。

●安全上のご注意で記載している事項での動作、及びお客様の過失による故障に関しましては保証の対象となりません。

■修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または下記に記載されているお問い合わせ窓口までご連絡ください。

■修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

●お客様のお名前

●商品の品番

●故障の内容（できるだけ詳しく）



株式会社 **ガイアエデュケーション**

〒107-0061 東京都港区北青山一丁目4番6号 246 青山

TEL : 03-6809-3881 FAX : 03-6809-3882

<http://www.gaia-edu.co.jp> <http://www.mimioxi.net>

<http://www.penplus.gaia-edu.co.jp>